

富士見市立本郷中学校だより

学校教育目標



# 群青

よく考え、学び、求める生徒  
豊かな心を持ち、思いやりのある生徒  
心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒

「ひたむきに伸びようとする生徒たちをサポートする学校」

No. 1

## 青は、前に進めの色。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。また、2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。春のあたたかな日差しと木々に新しい息吹が感じられる本日、期待に胸を膨らませた新入生120名を迎え、364名・12学級で新しい1年をスタートしました。先週、2・3年生が心をこめて整えてくれた体育館・教室で、新入生を迎えることができました。あらためて、本郷中の生徒たちは、黙々と清掃し、他者のために心づかいのできる生徒たちです。

入学式で、新入生に中学校生活最初の問題を出しました。「学校にはいます。おうちにはいません。さて、誰のことでしょう？」 答えは、・・・「友だち」です。

コロナ禍では、ソーシャルディスタンスの名の下に、友だちと距離を取らせ、当たり前にあった学校生活や学校行事の多くも制限を余儀なくされ、子どもたちにも申し訳ないことをしました。しかしながらこの長い闘いの中で、私たちは大切なものにも気付かされました。それは、「学校」の存在価値です。便利な世の中になり、いつでもどこでも学ぶことができます。しかしながら、「友と学ぶ」ということは、学校でしかできないことです。

私たち教職員は、ひたむきに伸びようとする生徒たちを精一杯サポートしてまいります。ぜひ、ご家庭のご協力をお願いいたします。

学校だよりの表題を「群青」としました。東日本大震災後に福島県の中学生の言葉を集めて作られた合唱曲「群青」からとったものです。市内の中学校に身を置いていた時も、いつからか「本郷中の群青はすごいよ」と噂で聞いていました。本郷中に着任すると知った時から、私の頭の中ではまだ聞いたことのない本郷中生の「群青」が鳴っています。

一方で「洋服の青山」のコマーシャルでは、YOASOBIの「群青」の合唱をバックに、若者たちの青春群像が広がります。そこに映し出される言葉が、それぞれが新しく一步を踏み出すこの春のスタートにぴったりです。

「青は、前に進めの色」。「群青」に背中を押されながら、令和6年度の本郷中は、前に進みます。

新しい日々がはじまる  
なのに不安なこの気持ちはなんだ？  
ねえ、なにがしたい？  
いつも自分に問いかけていた  
本当にやりたいことなんてわからない  
あるのは目の前の好きなことだけ  
ねえ、これって自分だけ？  
自分の道ってどう探せばいい？  
みんなどうやって探しているの？  
そんなことは誰も教えてくれやしない  
そうだ、大丈夫。  
好きなものを追いかけて続ける限り  
きっとこの青さは続いていく  
青は、進めだ。  
青は、前に進めの色。  
(洋服の青山 テレビCMより)

### 【保護者や地域の皆様へ】

この4月より、前任の仲田和広校長に代わり着任いたしました。3年間三芳町で小学校の校長をしていました。その経験も活かし、水谷小やみずほ台小とも連携し、9年間の子どもの成長を支えてまいります。今年度の本郷中は、「ひたむきに伸びようとする生徒たちをサポートする学校」をスクール・ミッションとして掲げました。皆様と手を携えて、子どもたちの健やかな成長をサポートしていきたくと思っています。教職員一同、今年度もよろしくお願いいたします。(校長 廣井賢司)